

豊橋市のごみの現状について

1. ごみの総排出量の推移

豊橋市におけるごみの総排出量は前年度と比べて 893 トン (0.7%) の微増でした。

生活系ごみ*¹が 269 トン (0.3%) の微増、事業系ごみ*²が 624 トン (1.5%) の増加でした。

生活系ごみは『ごみ処理非常事態宣言』などの啓発活動により、生ごみや雑がみの分別が進み、もやすごみが減少した一方で、『プラマークごみの毎週収集への変更』により、排出先がスーパーなどの店頭からごみステーションへ戻り、プラマークごみが増えたこと、『台風被害』によりこわすごみなどが増えたことが要因と考えています。

また、事業系ごみは平成 31 年 4 月 1 日からの処理手数料改定によるかけ込みの排出が要因と考えています。

*1：生活系ごみ — 家庭から排出されるごみ

*2：事業系ごみ — 事業所から排出されるごみ

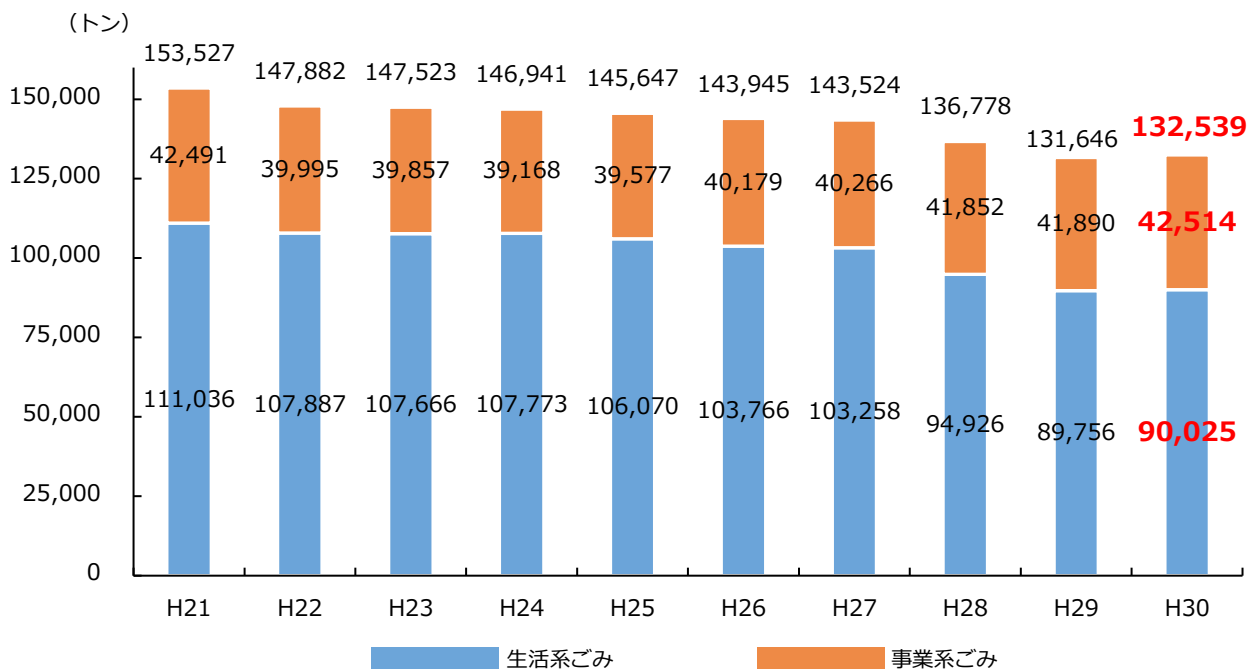


図. 1 豊橋市におけるごみの総排出量の推移

2. 生活系ごみの推移

豊橋市民1人が1日出す生活系ごみの排出量は654グラムで、前年度と比べて2グラム(0.3%)微増と、前年度に引き続き、ほぼ全国、他都市並みでした。

これは、ごみの総排出量微増の要因と同様で、平成28年度の指定ごみ袋制度導入や平成29年度の生ごみ分別開始による減量効果が保たれたことが要因と考えています。

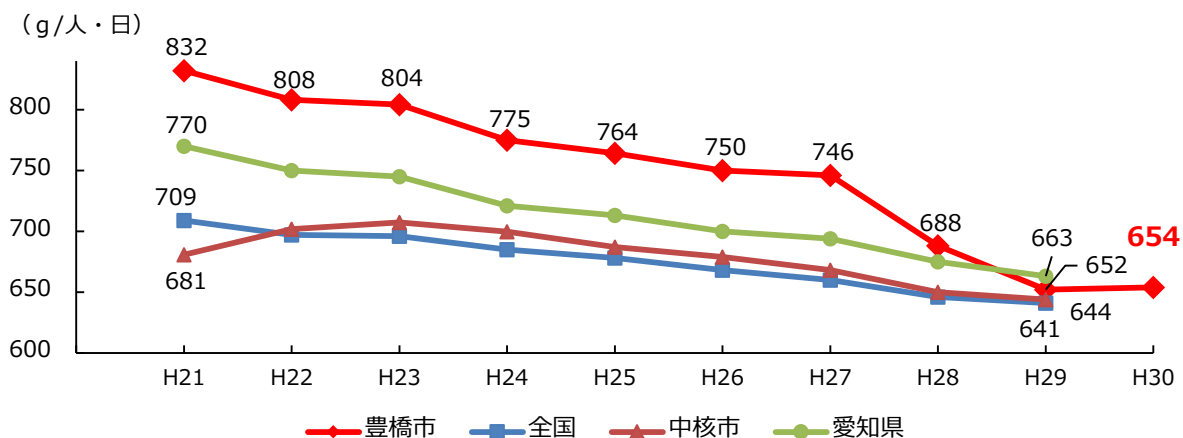


図.2 1人1日当たりの生活系ごみの推移

3. 家庭系ごみの推移

豊橋市民1人が1日出す家庭系ごみ^{*3}の量は422グラムで、前年度と比べて3グラム(0.7%)の微減と、ほぼ前年度並みで、全国、他都市を大きくリードしています。

これは、指定ごみ袋制度導入や生ごみ分別開始によるごみの減量と、生ごみや雑がみの分別促進による資源化が進んだことが要因と考えています。

*3: 家庭系ごみ - 生活系ごみのうち、生ごみや古紙、プラマークごみなど資源として収集したものを除いたごみ

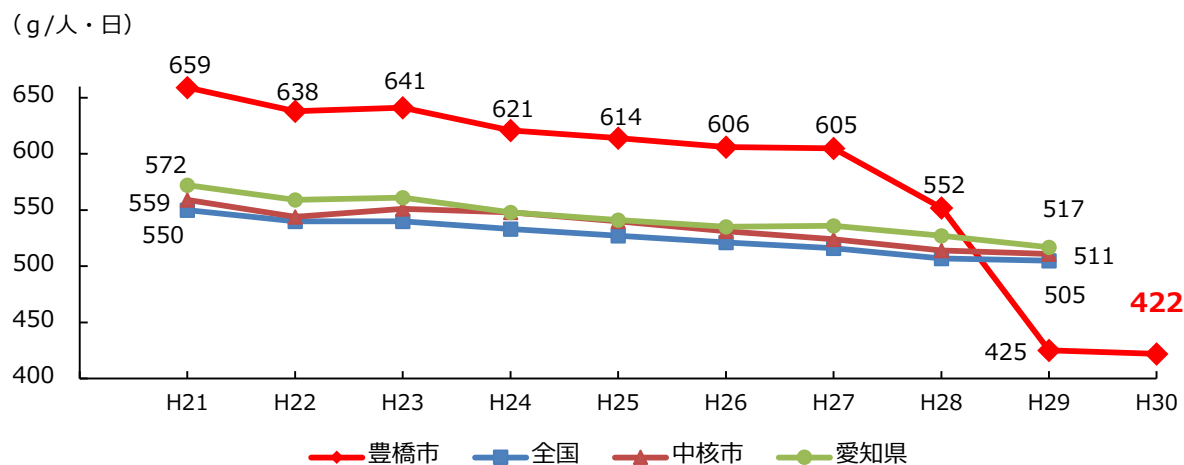


図.3 1人1日当たりの家庭系ごみの推移

4. リサイクル率の推移

リサイクル率*4は26.3%と、生ごみ分別の開始により大きく上昇した前年度から、さらに2.1ポイント上昇しました。

これにより、豊橋市の目標である『令和2年度（2020年度）に28%』まで、あと1.7ポイントとなりました。

これは生ごみを燃やさずにリサイクルするバイオマス利活用センターが1年を通じて安定的に稼働したことが要因と考えています。

*4：リサイクル率 — ごみの総排出量に占める資源化量の割合

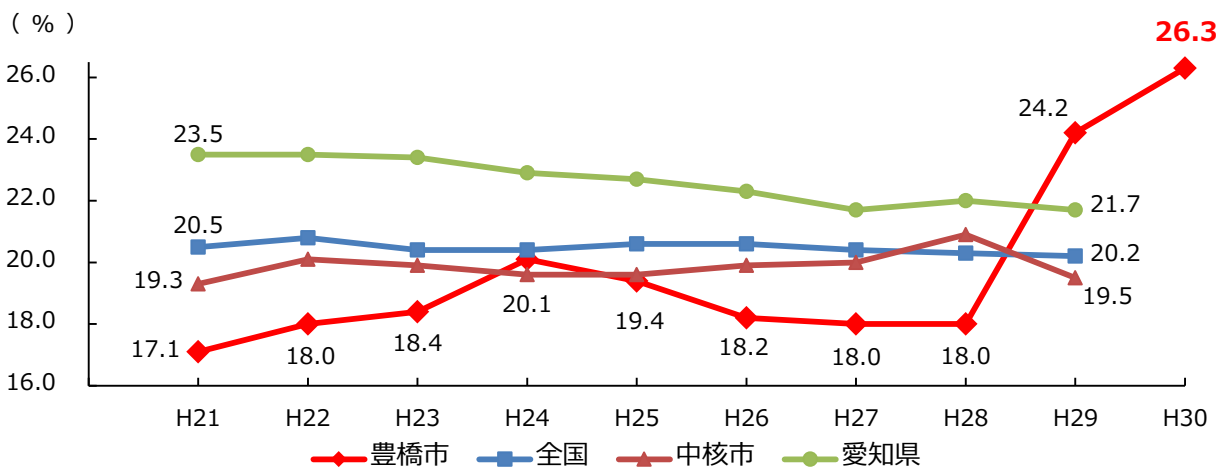


図. 4 リサイクル率の推移

5. もやすごみの組成

もやすごみの減量は進んでいますが、もやすごみの44%は分別すればリサイクルできる資源であり、そのほとんどは生ごみと雑がみです。

もやすごみとして排出・処分されてしまう多くの資源をいかに分別・リサイクルするかを大きな課題と捉え、今後も、もやすごみからの資源の分別促進、特にもやすごみとして出されがちな生ごみと雑がみの分別促進に努めます。

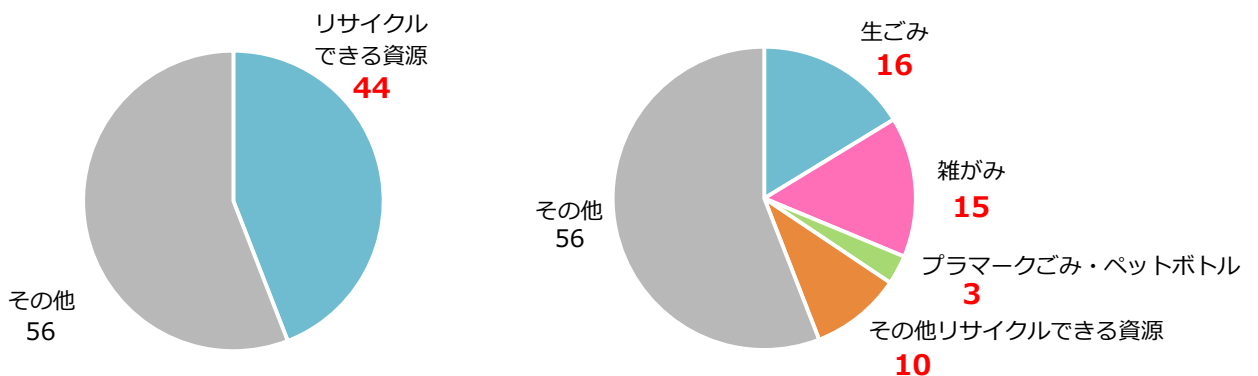


図. 5 もやすごみの分別状況 (%)